

製造業（機械・金属）

A社の場合

① 課題の確認・検討

- 紙の帳票による作業記録の作成時間短縮および保管コスト削減を検討
- トレーサビリティ（製造元の特定等）の厳格化に伴い、作業記録のミスや漏れの防止が課題

⇒帳票をデジタル化し、作業記録の作成時間短縮と業務管理の強化を狙う。

② デジタル等の活用

- スマホで操作できる作業記録の自動化アプリを導入
- データ化した作業記録を得意先と容易に共有可能に

③ 業務形態・サービスの变革

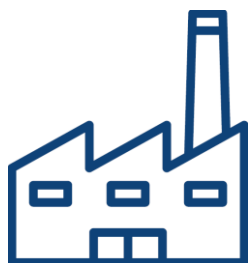
- 1人1台のスマホを配布し、アプリによる作業記録をルール化
- データで適切に業務管理ができていることから、トレーサビリティが改善

④ 効果・結果

- 作業記録の手法改善により得意先からの信頼度がアップし、新しい領域の仕事を受注
- 新規取引先に対するアピールポイントにもなり、新たな得意先を獲得
- 製造ラインの稼働状況が可視化され、生産効率が向上

企業文化の变革

- ペーパーレス文化が浸透し、社内の環境への意識が向上
- 製造現場をより効率化しようと挑戦する社風へと变革



製造業（機械・金属）

B社の場合

①
課題の
確認・検討

- 複数の製造拠点の稼働状況確認にかかるコストの削減を検討
- 現状の売上・収支状況から、新しい分野への進出が課題

⇒デジタルを活用し、複数の活動拠点の稼働状況を把握して生産の効率化を狙う。

②
デジタル等
の活用

- 設備の稼働状況を把握するためにセンサーを活用し、稼働状況をデータ管理
- 製造ラインをクラウドサーバーにつなぎ、遠隔操作システムを構築

③
業務形態・
サービスの
変革

- 稼働状況のデータ管理により生産効率が向上
- 遠隔操作システムにより、人員の効率的な配置で24時間稼働を実現

④
効果・結果

- 24時間稼働により短納期の依頼にも対応し、取引先が拡大
- 残業時間を削減し、従業員満足度が向上したことで人材が定着
- データ管理のツールを新規分野として事業展開

企業文化の変革

- 出社の必要性が少なくなり、多様な働き方を実現
- 新しい分野へ挑戦する社風へ変革